

優秀賞

一般建築物の部

建築主：学校法人廣池学園

設計：KAJIMA DESIGN

有限会社 上野・藤井建築研究所

一般社団法人 キャンパスとまち計画研究所

施工：鹿島建設株式会社 東京建築支店

所在地：柏市光ヶ丘2-1-1

～出会いと学びが交差する新たな共創の空間～

麗澤大学 校舎さつき



西側外観・おおらかなエントランス大庇・開かれた大教室

麗澤大学 校舎さつきは、緑豊かなキャンパスにおいて、今までまちとのつながりが比較的希薄であった南柏駅に面する北側の敷地に、新たに新設される工学部の活動拠点施設として、新校舎及びランドスケープを整備したプロジェクトである。新校舎は、学園の建学の精神に基づき「共創」をキーワードに新たな大学の顔となる建築が目指された。「共創」の建築的表現は、「共創の場となる学習環境づくり」、「環境共生型キャンパスの実現」をコンセプトに、様々な場において大学活動の可視化や交流の誘発、活動の変化に対するフレキシビリティの確保がされている。1階は、学生や教職員が日常的に集うLearning Hallがあり、上下階の交流を促進するため、各所に共創する人数に応じた吹抜空間を設け、交流の機会を自然に生み出す工夫が随所に計画されている。また、大型実験室は、大学の研究活動の場に加え、地域に開放されフォーラムやヨガ教室などが開かれている。新校舎は、工学部の活動拠点施設であ

るが、他の学部 of 学生も利用可能で、文理融合総合大学の象徴的な建物となっている。その他、木を使った新構法の活用や省エネのための環境配慮技術の導入、自然環境に対しては、キャンパス内校舎で利用する井水の利用率より多い雨水を、緑地やレインガーデン等から地下水へ還元することでネットゼロウォータービルにする等、新校舎は環境共生型キャンパスの実現の一翼を担っている。これらの複雑な要素を秩序立てて計画・設計し、それを施工した建物の施工精度もよい。麗澤大学 校舎さつきは、学園の建学の精神を具現化した質の高い学びの場が実現されている。

(鈴木 弘樹)



キャンパスの主動線へ生まれ変わった「新たな顔」



3方向にアクティビティが開く木質空間・大教室

(撮影全て：石黒写真研究所 塩澤 貴弘)